

金曜

ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



年末年始の生活 支えてくれ感謝

年明け早々に定期刊行物の締め切りを控え、例年のことですが、年末年始はほぼ事務所にこもりきりでした。電話も少なく、話し相手はメダカだけ、効率よく仕事はかどるものと思っていました。

しかし、12月の初めに左上の奥歯のかぶせ物が取れ、痛みが出ていました。それを気にしていると、右下の奥歯も痛み始め、どんどんひどくなりました。痛みに耐えられず集中力が続きません。行きつけの、と言ってもしばらくは無沙汰していた歯科クリニックに連絡し、何とかして欲しいと泣きつきました。

具合が悪くなった時にしか行かないのが悪いのでしようが、完全予約制の中に押し込んでもらい、治療、そして抗生物質と頓服で、どうにか乗り切りました。年内に2度、次は年明けの5日の診療ということになりました。



お正月も2日から出社の予定でしたので、その間に痛みが出たらどうしようかと心配になり、念のため休日診療の当番医を確認したものです。たくさんさんの医院やクリニックが掲載されていて、なぜかそれだけで安心できました。

医療関係だけではなく、ほかにも休まず働いている方は

たくさんいます。公共交通、郵便、宅配便、福祉・介護の関係などは停滞しません。スーパーやコンビニも開いててよかったと思っただけです。

新聞やテレビなどマスコミ関係も休み無し、薄くなっても新聞は毎朝届くし、テレビもやっていますもんね。除雪作業も夜を徹して続けられています。また消防や警察の方々が働いてくれているので安心して生活できます。改めてありがたく思う年末年始でした。



社社も忙しそうです。ただここはこの時期だけで1年分の大半を稼ぐと聞いたことが

あり、そりゃ、モチベーションが高いだろうと勝手に想像してしまいました。

しかし、ほとんどの方が年内は28日まで、年明けは4日初出勤して、すぐ土日の休み、そしてまたすぐ3連休。運のよい人は7日初出勤の方もいたようです。これはいかに休まずきでしょう。

うらやましくはあるのですが、この長い休みをどう過ごすのでしょうか。ポーツとテレビばかり見てたんじゃないですか。チコちゃんに叱られますよ。

私は今の仕事を始めてから、こうした長い休みがなかったもので、どうにも想像できません。もし休めたらのんびり温泉に行きたいところです。が、ひたすら読書と睡眠をむさぼるだけかもしれません。

私のところには、まだ働き方改革の波はやってこないようです。